



# [公財] 日本太鼓財団

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

### 会報

発行・編集 2016年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:[info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)



公益財団法人 日本太鼓財団  
会 長 松本 英昭

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、つつがなく新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、前年に引き続き2名の日本人ノーベル賞受賞者を出す明るい出来事があった一方、東京五輪のエンブレムや新国立競技場建設等、オリンピック関連の問題に揺れました。

そのような社会状況の中、日本太鼓財団として会員の皆様のご協力を得て、所定の事業を計画通り実施することができました。

3月に、長野県長野市において第17回ジュニアコンクールを開催、宮崎県の「橘太鼓『響座』ジュニア」が最多となる3回目の優勝に輝きました。なお本大会に出場した台湾チームが第3位、ブラジルチームが特別賞を受賞と海外太鼓チームのレベルの向上ぶりが目立ちました。また本大会には、アルゼンチンチームが初出場を果たし、日本太鼓の国際化が一層進んでいることを実感いたしました。

6月には、全世界からハンセン病の撲滅を目指す事業を行っている(公財)笹川記念保健協力財団の共催を得てチャリティコンサートを東京都港区において内外のオピニオンリーダーを集め開催、来場者から頂戴した募金を全額同会にお渡ししました。9月には、岡山県倉敷市において岡山県支部として初の財団事業となる全国フェスティバルを開催し、全国から参加した優秀チームの高い演奏技術に詰めかけた観客から大きな拍手が寄せられました。10月に石川県小松市で全国障害者大会を開催、出演者の皆様には日頃の練習の成果を発揮していただきました。12回目となるシニアコンクールも11月に石川県輪島市で開催、永年培ってきたシニアならではの円熟味のある演奏を披露し、御諏訪太鼓保存会の古屋邦夫氏が名人位に輝きました。

11月に鹿児島県出水市で行われた国民文化祭・かごしま2015「和太鼓の祭典」において主催者の一員として運営に参加し、大盛況の国民文化祭となりました。

財団事業のもう一方の柱である演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3回、支部講習会を6回開催いたしました。学校教職員を対象にした教職員研修会は、支部主催により全国で8回開催されました。また、3年に一度行っている公認指導員更新研修会では、各地からの参加があり旧交を深められる姿が印象的でした。

国際交流事業としては、前述のジュニアコンクールにブラジル、台湾、アルゼンチンチームを招聘したほか、台湾での講習会に指導者・職員を派遣し協力いたしました。特に台湾とは、日本と距離的に近いことから交流が一層進み、2月に鹿児島県で開催した当財団の全国講習会には、台湾とシンガポールから30名に及ぶ受講者が参加しました。

本年3月に大分県で開催するジュニアコンクールには、昨年に引き続きブラジル、台湾、アルゼンチンチームが参加する予定になっております。

このように日本太鼓が国内外において益々普及する中、新しく迎えた2016年においても全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実させて進めてまいりたいと思っております。

日本の太鼓界を取り巻く昨今の社会環境は、練習場所の音響対策、地方自治体からの助成金の減少、少子化による後継者不足等厳しいものがあります。日本太鼓財団としてこの厳しい社会情勢のなかで財団の設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後とも図っていくため、支部・会員の皆様との協調、連携をとりながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に2016年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 第30回国民文化祭・かごしま2015「和太鼓の祭典」

10月31日・11月1日(土日)鹿児島県の鶴の名所で知られる出水市の「出水市文化会館」において第30回国民文化祭・かごしま2015「和太鼓の祭典」が開催されました。国民文化祭は1986年に第1回目が東京で開催されて以降、全国持ち回りで開催しており、今回で30回目を迎えます。昨年、秋田県支部のご尽力により初めて主催団体の一員となりました。

開会式では主催者を代表して当財団塩見理事長が挨拶、全国13道県から27団体が出演し、太鼓の技を披露しました。開演前から多くのお客様が並ばれるなど賑わいをみせ、盛況裡に終了いたしました。

当日は会場の外に「ワークショップ会場」が設けられ、「ミニ和太鼓づくり」や実際に太鼓を打つことができる「和太鼓体験」など、多くのお客様に楽しんでいただきました。

来年度は11月20日(日)愛知県名古屋市の「名古屋国際会議場センチュリーホール」で「太鼓の祭典」が開催されます。



(鹿児島県合同チーム)

### 国民文化祭を終えて

日本太鼓財団 鹿児島県支部 支部長 平田 寿一

10月31日～11月1日の2日間にかけて、第30回国民文化祭・かごしま2015「和太鼓の祭典」が鹿児島県出水市で開催され、県外から15団体、県内からは合同チーム2団体を含む12団体、計27団体が出演し、2日間を大いに盛り上げました。

私たち鹿児島県支部も舞台運営とワークショップの企画・運営を委託され、1年半前から取り組んできました。

会場は、客席数約1,000席のホールで舞台周りがとても狭く、どのように太鼓を回していくかが一番の課題でした。また、ワークショップでは、どうすれば和太鼓のことを知っていただけるか。普段は観るだけですが、体験することでもっと身近に感じていただこう、そういう思いで企画をしました。

両日にわたって満員御礼、ホール内に入れない方も多く、その方々は別室で「パブリックビュー」というかたちで観ていただきました。

ワークショップ会場では「ミニ太鼓づくり」や、簡単なリズムを覚えてもらい篠笛のメロディに合わせてリズムを打つ「体験コーナー」、そして、県内の太鼓団体の衣装と太鼓を展示し、気に入った衣装を着て太鼓と一緒に撮影できる「記念撮影コーナー」、ジュニアチームの演奏などを準備し、たくさんの方々に楽しんでいただき、これまで以上に和太鼓を身近に感じていただけたのではないかと思います。

昨年度より、(公財)日本太鼓財団も主催者になっていただいたわけですが、今回の運営に対してのアドバイスや情報提供、ワークショップに関しては助成金事業の認可もいただき、様々なかたちでサポートしていただきました。そして、運営や企画の中で、次回開催に向けての課題や改善点が明確に見えてきています。そういったところに太鼓財団の存在の大きさを感じるとともに、来年はさらに素晴らしいものになるというふうに感じております。

今回の運営にあたっては、日本太鼓財団をはじめ、全九州太鼓連合、そして出演してくださった団体の皆様のおかげで、大成功に終わることができました。誠にありがとうございました。来年は、愛知県名古屋市での開催と聞いております。さらに素晴らしい国民文化祭になることを心より祈念いたします。



(ワークショップの様子)



# 第12回日本太鼓シニアコンクール開催 ～文部科学大臣賞を目指して全国より29組111名が参加～

11月22日(日)石川県輪島市「輪島市文化会館」において第12回日本太鼓シニアコンクールが開催されました。

この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年に多い、激しく速い太鼓とは違う味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているものです。第3回目より文部科学大臣賞が下付されております。

12回目を迎えた今回は13都県から29組111名が参加して開催されました。今大会で栄えある名人位となり文部科学大臣賞を手にしたのは長野県から参加の古屋邦夫氏(御諏訪太鼓保存会・67歳)でした。組太鼓が織りなす名演に観客は魅了されていました。

<結果>(敬称略)

## 名人位

古屋 邦夫(御諏訪太鼓保存会・長野)

## 準名人

黒土 勇(久山樺太鼓響生会・福岡)  
和田 光則(金谷大井川越し太鼓・静岡)  
山本 和人(加賀太鼓保存会・石川)

## 特別賞

野方 嘉孝(大和太鼓保存会・佐賀)  
岩城 正治(加賀太鼓保存会・石川)  
山田 誠一(坂井市無形民俗文化財火の太鼓保存会・福井)  
和田 昭男(九谷太鼓・石川)  
長野県太鼓連盟(長野)  
和太鼓大元組いぶし(東京)  
東出南弥子(共栄太鼓風雅・石川)  
小幡 潔(荏原流れ太鼓ひびき会・東京)  
得能 力知(銚子太鼓保存会・石川)  
加藤 浩之(尾張新次郎太鼓保存会・愛知)  
秦野観光和太鼓(神奈川)

\*古屋名人から寄稿して頂きましたのでご紹介いたします。

## 名人位を獲得して

御諏訪太鼓保存会 古屋 邦夫

名人位をいただいたことに、ただただ驚いております。私の保存会は組太鼓であり個人スタイルの曲で出場するのは難しいと思いました。しかし3年前に初めて出場した際「なんて楽しい大会なんだろう」と感じ、今回の受賞により「来年の楽しみがなくなった」と少しさみしさも実感したところです。

芸は盗むものであり教わるものではない。盗み取らせてもらったものが今の私の自信でもあります。ただこの大会で100%の力が出し切れたとは思っていませんし、納得のいく完璧な演奏だとも思っていません。しかし自分が気持ち良く打てたこの瞬間、一緒に演奏しているメンバーも見ているお客さんも心地よい安心感・一体感を感じていただけたのだと思います。今回はそんな雰囲気を受け止めることができました。汗を飛び散らせ力いっぱいのパフォーマンスがうける時代のようなのですが、私は目をつむって聴いても「いいなあ」と感じる太鼓本来の音をこれからも求めたいと思います。名人位という称号をいただきましたが、この受賞により益々音へのこだわりを後継者へ伝えなければと考えさせられました。

また、生涯現役と言った故小口大八先代の言葉を思い出し、自分自身少しでも長く太鼓を打ち続けたいと思います。

最後に、名人位の道のに協力してくれたメンバー、ひやひやしながら応援してくれた仲間、そして同じ舞台に立った同志に感謝します。ありがとう。

また、大会運営にあたりご尽力された(公財)日本太鼓財団、地元関係者の皆様に御礼申し上げますとともに、この大会の益々の発展を祈念いたします。



(開会式の様子)



(表彰式)



(古屋名人の演奏)



(準名人 黒土勇・福岡)



(準名人 和田光則・静岡)



(準名人 山本和人・石川)

#### 審査委員

(敬称略)

塩見 和子(審査委員長・財団理事長)  
 江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)特別顧問)  
 福光松太郎(㈱福光屋代表取締役社長)  
 浅野 義幸((公社)石川県太鼓連盟会長)  
 大場 吉美(金沢学院大学教授)  
 長谷川 義(全九州太鼓連合名誉会長)

## 創エネ・あかりパークにて太鼓演奏協力

10月30日(金)当財団理事で世界的な照明デザイナーの石井幹子氏がプロデュースされた「創エネ・あかりパーク2015」(東京・上野恩賜公園)が開催され、協力要請を受けて太鼓団体を派遣しイベントに協力しました。会場では最新の光技術を組み合わせた、様々な美しい明りが灯され、周囲のテントでは「あかり」に関する体験が行われていました。「上州藤岡上杉管領太鼓」(群馬)、「岩舟武蔵太鼓」(栃木)、「創作和太鼓集団打鼓音」(神奈川)、「太鼓集団天邪鬼」(東京)がそれぞれ得意曲を演奏すると、その迫力に約500名のお客様がステージに集まり、熱心に見入っていました。



(上州藤岡上杉管領太鼓・群馬)



(創作和太鼓集団打鼓音・神奈川)



(岩舟武蔵太鼓・栃木)



(太鼓集団天邪鬼・東京)

(写真提供:「創エネ・あかりパーク2015」実行委員会)



### <第67回日本太鼓支部講習会(兵庫)>

10月17・18日(土日)兵庫県支部主催による支部講習会が兵庫県たつの市の「新宮ふれあい福祉会館」で行われました。7都道府県から、29名が参加しました。開会式では桂正静支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 4級基本講座 松枝 明美
- 5級基本講座 吉岡 賢治

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 4級検定 17名受験 17名合格
- 5級検定 7名受験 7名合格



(4級基本講座)

### <第68回日本太鼓支部講習会(北海道道西)>

10月24・25日(土日)北海道道西支部主催による支部講習会が北海道岩見沢市の「幌向総合コミュニティーセンターほっとかん」で行われました。公認指導員更新研修会参加者を合わせ、7都道県から34名が参加しました。開会式では田中浩照支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

- 専門講座講師 地獄太鼓講座 橋本 光司
- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 3級基本講座 今池 薫
- 更新研修会講師 浅野 昭利

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 1級検定 3名受験 3名合格
- 2級検定 6名受験 4名合格(1名認定)
- 3級検定 12名受験 12名合格

◇第6期公認指導員更新研修会

11名が更新手続きを完了しました。



(3級基本講座)

## 第4回東北太鼓ジュニアコンクール・第24回東北太鼓フェスティバル

東北太鼓連合の主催による「第4回東北太鼓ジュニアコンクール」が、東北6県より21団体が参加して行われました。また、あわせて「第24回東北太鼓フェスティバル」が開催され各県を代表する6団体が出演し、約1,000名の観客を集め盛況裡に終了いたしました。

審査結果は以下の通りです。

### <結果>

- 優勝 あそびっ鼓組“遊”(青森)
- 準優勝 岩手県立大船渡東高等学校太鼓部(岩手)
- 3位 岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)
- 4位 田島太鼓龍巳会「白鼓」(福島)
- 5位 やまばと太鼓(秋田)

### 特別賞

- 日本太鼓財団賞 奥州水沢颯人和太鼓乃会(岩手)
- 浅野太鼓楽器店賞 岩手県立宮古水産高等学校(岩手)
- 諏訪響太鼓店賞 高倉薬太鼓(宮城)
- 鈴木太鼓店賞 利府太鼓(宮城)



(優勝「あそびっ鼓組“遊”・青森)

## 第10回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール

「第10回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が12月23日(水・祝)に長崎県佐世保市において開催されました。詳細は次号お知らせいたします。

## 第6回台湾太鼓ジュニアコンクール・第8回台湾太鼓フェスティバルが開催

10月11日(日)台湾で第6回台湾太鼓ジュニアコンクールと第8回台湾太鼓フェスティバルが、桃園市の桃園展演廳にて開催され、塩見理事長と、審査委員として当財団より長谷川副会長が出席しました。完全入替制で行われ、両公演とも満員となり、合わせて2,000名を越える観客の前で開催されました。

台湾太鼓ジュニアコンクールには特別演奏2団体を含む27団体292名が参加しました。今大会では、一昨年12月に行われた第9回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールにおいて優勝した宮崎県の「橘太鼓『響座』ジュニア」が特別出演し、熱のこもった演奏で観客を魅了していました。

栄えある優勝は「天祥太鼓團」(台中市)が手にし、台湾太鼓ジュニアコンクールで2011年、2013年に続いて3度目の優勝となりました。今年3月に大分県大分市で開催する第17回日本太鼓ジュニアコンクールに参加することになり、準優勝の「泰山太鼓團」は、昨年12月に長崎県佐世保市で開催された全九州・ジュニアコンクールに参加しました。

審査結果は次の通りです。

審査結果 優勝 天祥太鼓團  
第2位 泰山太鼓團  
第3位 勁太鼓

特別賞 日本太鼓財団賞 迦摩磔太鼓團  
日本交流協会賞 愛伯特太鼓團  
全九州太鼓連合賞 南炭安德笙太鼓團  
浅野太鼓楽器店賞 柏齡太鼓團  
蘆竹区区長賞 新店太鼓社、千阜炫太鼓團  
台湾演奏家協会賞 玄門太鼓團



(優勝「天祥太鼓團」)

第8回となる台湾太鼓フェスティバルは、台湾各地から13団体156名が参加しました。公演の最後は、オーディションで選ばれた100名による合同演奏「福爾摩沙之風」(長谷川義氏作曲)で幕を閉じました。100名全員の息の合った演奏に、観客席から大きな拍手が起こりました。

## 銚子はね太鼓保存会が地域伝統芸能大賞を受賞！

千葉県銚子市の銚子はね太鼓保存会(代表宮崎義政氏)が、(一財)地域伝統芸能活用センター主催の地域伝統芸能大賞を10月11日に受賞されました。

銚子はね太鼓保存会は銚子市の無形文化財に登録されており、2人の打ち手が太鼓を担ぎ上げ、その太鼓を跳ね回りながら打つのを特徴としています。また「ねかせ打ち」では片方の打ち手を地面に倒し、太鼓を打鳴らします。

銚子市の観光PRのため、国内はもとより海外でも多く活躍されており、その地域振興の貢献から大賞に選ばれました。おめでとうございます。



(銚子はね太鼓保存会 代表宮崎義政氏)

## 訃報

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました日本太鼓財団長野県支部理事長、三澤興宣氏が2015年10月26日にご逝去されました。(享年60)

三澤氏は2013年6月に長野県箕輪町で開催した日本太鼓全国講習会や昨年3月に長野市で開催した日本太鼓ジュニアコンクール等において、会場のご手配や実施運営にご尽力をいただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## ジュニアコンクール出場団体決定！

名称：第18回日本太鼓ジュニアコンクール(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)

期日：2016年3月20日(日)開場9:30 開演10:00 閉会式終了予定19:00

会場：iichiko総合文化センター(大分県大分市高砂町2番33号)TEL 097-533-4000

入場料：前売券2,000円 当日券2,500円

(チケットぴあにて2月1日より販売開始！ TEL 0570-02-9999 Pコード284-905)

**\*今回もインターネットにより生中継いたします！遠方で会場にお越しになれない方は、  
当財団ホームページよりご覧頂けます。 <http://www.nippon-taiko.or.jp>**

**出場団体：54チーム【国内52チーム(38都道府県)、ブラジル、台湾代表チーム】(予定)**

予選実施：40支部430チーム4,495名、支部推薦7チーム(海外の予選含む)

**※アルゼンチンの「ラプラタ太鼓」が特別出演いたします！**

道央：厚別本陣はまなす太鼓

道西：赤平火太鼓保存会

道南：橋本流みゆき太鼓

道北：和太鼓 鼓楽

青森：あそびっ鼓組 “遊”

岩手：岩手県立大船渡東高等学校太鼓部

宮城：高倉槩太鼓

秋田：やまばと太鼓

山形：念珠関辨天太鼓子供会

福島：田島太鼓龍巳会「白鼓」

栃木：和太鼓キッズゆりかご

群馬：上州榛東ふるさと太鼓

埼玉：乾武神流川太鼓

千葉：和太鼓 凧

東京：東京都立美原高校和太鼓部

神奈川：相州海老名東柏太鼓

富山：越中いさみ太鼓保存会春蘭

石川：輪島・和太鼓 虎之介

手取亢龍若鮎組

福井：ハツ杉太鼓 遊心

山梨：鷹座巢小林八幡太鼓

長野：信濃松川響岳太鼓子供会

岐阜：上石津もんでこ太鼓保存会 少年部

静岡：沼津学園飛龍高等学校和太鼓部

伊豆総合高等学校郷土芸能部

愛知：転輪太鼓

三重：青山高校和太鼓部 “葵”

京都：大和の響き・京

大阪：山城ノ國和太鼓鼓粹

兵庫：養父太鼓 鼓彩

岡山：倉敷天領太鼓

広島：大竹一番太鼓

島根：掛合太鼓ジュニア

香川：和太鼓集団 夢幻の会 子ども太鼓

徳島：徳島県立海部高等学校郷土芸能部

山口：下関平家太鼓保存会 勝山会

福岡：和太鼓たぎり

二丈太鼓「恬」

佐賀：大和太鼓保存会鼓天童子

不知火太鼓ジュニア

長崎：おおむら太鼓連くじら太鼓

熊本：熊本市立必由館高等学校和太鼓部

人吉ねぶか太鼓

荒尾太鼓

大分：由布はさま太鼓

ZENKAI太鼓

楊志館高等学校

宮崎：日向の国「響」

日南太鼓衆「爽空」

太鼓研修センター「響」

鹿児島：志布志ちりめん太鼓

火の神乙女太鼓 爽

九州：全九州ジュニアコンクール結果により決定

台湾：天祥太鼓團

ブラジル：飛翔太鼓

**特別出演：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・第17回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)  
ラプラタ太鼓(アルゼンチン)**

\*大会規定により、支部予選で21チーム以上の参加があった場合は2チーム、31チーム以上の場合は3チームが出場できます。これにより、熊本・宮崎から3チーム、石川・静岡・福岡・佐賀・鹿児島島の各支部から2チーム、大会開催地の大分県支部からは3チームが参加します。

また、今回全九州ジュニアコンクールにおいて、全国コンクールの出場権を持たない団体が上位10団体に入った場合、最上位の1団体に全国コンクールへの出場が認められます。

なお、今回不参加の支部は道東・茨城・新潟・奈良・鳥取・沖縄の6支部です。



## 事務局だより

### 2016年度事業予定

正式には、3月の当財団の理事会、評議員会を経て決定いたしますが、取り急ぎ新年度の予定をお知らせします。\*各種事業のお問い合わせは財団事務局まで！ホームページでも情報を随時更新しています。

公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052港区赤坂1-2-2 TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

メール info@nippon-taiko.or.jp ホームページ <http://www.nippon-taiko.or.jp>

- 第20回日本太鼓チャリティコンサート  
期日:2016年5月27日(金)  
場所:草月ホール(東京都港区)
- 第20回日本太鼓全国フェスティバル  
期日:2016年7月10日(日)  
場所:四街道市文化センター(千葉県四街道市)
- 第18回日本太鼓全国障害者大会  
期日:2016年10月2日(日)  
場所:大垣市民会館(岐阜県大垣市)
- 第13回日本太鼓シニアコンクール  
期日:2016年12月4日(日)  
場所:七尾サンライフプラザ(石川県七尾市)
- 第19回日本太鼓ジュニアコンクール  
期日:2017年3月19日(日)  
場所:神戸国際ホール(兵庫県神戸市)
- <参考>
- 第5回東北ジュニアコンクール  
期日:2016年11月27日(日)  
場所:酒田市民会館(山形県酒田市)
- 第11回全九州ジュニアコンクール  
期日:2016年12月18日(日)  
場所:飯塚市文化会館(福岡県飯塚市)
- 第56回日本太鼓全国講習会  
期日:2016年6月25・26日(土日)  
場所:湯沢文化会館(秋田県湯沢市)
- 第57回日本太鼓全国講習会  
期日:2016年9月17・18日(土日)  
場所:神戸セミナーハウス(兵庫県神戸市)
- 第58回日本太鼓全国講習会  
期日:2017年2月11・12日(土日)  
場所:福岡県教育センター(福岡県篠栗町)
- 日本太鼓支部講習会  
6月11・12日(土日) 栃木県支部(矢板市)  
9月24・25日(土日) 北海道道西支部(岩見沢市)  
10月15・16日(土日) 北海道道東支部(釧路市)  
10月29・30日(土日) 北海道道北支部(稚内市)  
1月日付未定(土日) 岡山県支部(倉敷市)  
2月4・5日(土日) 東京都支部(港区)
- \*開催希望の支部は財団事務局にお問合せ願います。
- 海外講習会  
台湾(台湾太鼓協会主催)7月  
ブラジル(ブラジル太鼓協会主催)2月  
アルゼンチン(アルゼンチン太鼓協会)

### 第55回日本太鼓全国講習会(長崎県大村市)

期日:2016年2月20日・21日(土日)

会場:シーハットおおむら 長崎県大村市幸町25-33 TEL 0957-20-7200

主催:(公財)日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 若山 雷門

5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己

専門講座

三ツ打太鼓講座(複式単打法) 河合 睦夫(富山)

縮太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分)

秩父屋台囃子太鼓講座(複式複打法) 高野 右吉(埼玉)

申込先:(公財)日本太鼓財団

〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

お問い合わせ:日本太鼓財団長崎県支部

担当:脇坂 和紀 TEL 090-8394-2048

締切:2016年1月31日(日) 当日到着分まで有効

### 第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」出演者募集!

期日:2016年11月20日(日)\*前日19日(土)はリハーサルを行いますので必ず参加してください。

会場:愛知県名古屋市長古屋国際会議場センチュリーホール

主催:文化庁、愛知県、第31回国民文化祭愛知県実行委員会、(公財)日本太鼓財団

団体数:25団体程度

演奏時間:1団体10分以内、繋ぎ太鼓2分以内。演奏曲目は自由です。

出演経費:原則として各出演団体の負担です。

応募締切:2016年1月31日(日)\*出演団体は日本太鼓財団の審議を経て決定します。

応募先:郵送、またはメールで下記までお送りください。応募用紙はホームページの新着情報をご覧ください。

(公財)日本太鼓財団 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 メール info@nippon-taiko.or.jp